ご注意：

本書は取り扱い説明書から注意文など、製品の操作方法について直接関係のない部分や余白などを削除、修正したものです。操作方法が分からなくなったが説明書が手許にないとか、製品に興味があるが操作方法はどのようになっているのか先に知りたい、といった場合にお使い頂く事を念頭に編集しており、正しくお使い頂くためには必ず製品に同梱されている説明書をお読み下さい。又、本書が完全な説明書では無いことに対するクレームは一切お受け致しませんので、予め御理解ください。

尚、正式な説明書は無線機販売店でご購入いただけます。詳しくは下記の弊社ウエブサイトをご参照ください。

http://www.alinco.co.jp/denshi/14.html

ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

# DJ-P30D

# 取扱説明書

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読み下さい。また、この取扱説明書は大切に保管して下さい。ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。

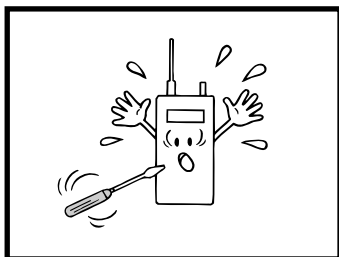
アルインコ株式会社

# ◆◆◆ 目　次 ◆◆◆

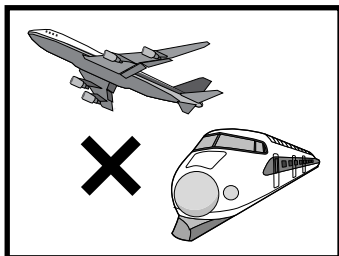
## ■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。

## ■分解しないで

改造、変更は禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

## ■ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内など。また日本国内でのみ使用してください。

## ■交信距離

交信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。

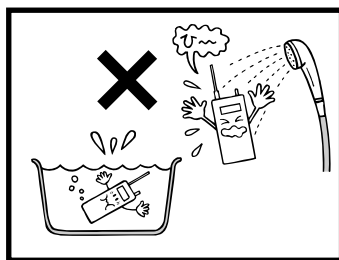
**大体の目安**

海　上　：2.5km
ゲレンデ：1.5km
（見通しの良い所）
郊　外　：1km程度
市街地　：100m程度

## ■障害物

本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、又は山や丘陵等の障害物があると交信できる距離が短くなります。

## ■水につけないで

防水設計ではありませんので、図のようなご使用は避けてください。なお、水雪等が付いた時は手早くふき取ってください。

# 1 お使いになる前に

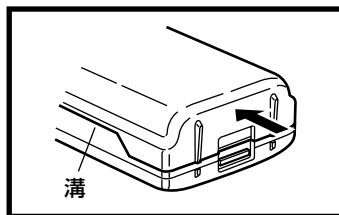
本製品をお使いになる前にお読みください。

## ……… 付属品と付け方 ………

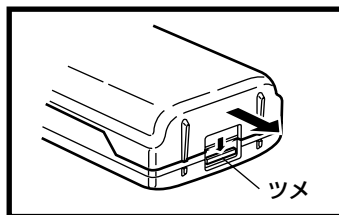
開梱しましたら、付属品を確認してください。

□電池ケース
□ストラップ
□ベルトクリップ（ビス１本）
□取扱説明書（本書）

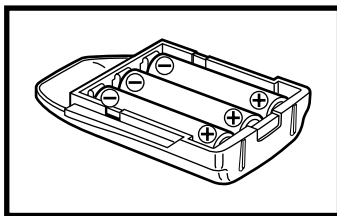
### ■ 乾電池ケースの取り付け

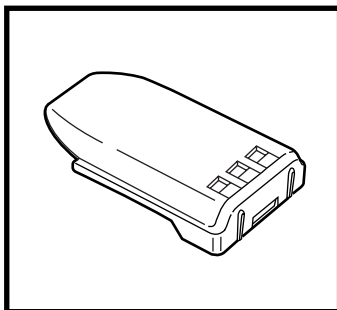
乾電池ケースを本体の溝に合わせて、矢印の方向に押さえるように「カチッ」と音がするまで押し込みます。

### ■ 乾電池ケースの取り外しかた

乾電池ケースのツメを押して、矢印の方向にゆっくり引き抜きます。

オプションのニッケル水素バッテリーパックも同じ方法で着脱できます。

## ■ 乾電池のセット

市販の単３型アルカリ乾電池３本を、ケース底面の「+」、「−」の表示にしたがってセットします。

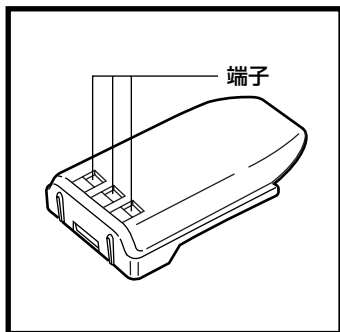
・市販の単３型ニッカド乾電池は使用しないでください。
・乾電池は同じ種類の新しいものを使用してください。
・高容量のアルカリ乾電池を使用してください。

## ■ ニッケル水素バッテリーパック

●オプション
EBP-52N（3.6V-500mAh）
EBP-53N（6.0V-500mAh）
EBP-54N（3.6V-1500mAh）

注意 バッテリーパック使用上の注意

・バッテリーパックは出荷時には充電されておりません。
お買い上げ後に充電してからご使用ください。
・本バッテリーをEDC-105で充電する時は最大10時間が必要です。
・充電は0℃〜40℃の温度範囲内でおこなってください。
・バッテリーパックの改造、分解や火中、水中への投入は危険ですからしないでください。
・バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。
機器が損傷したり、バッテリーの発熱による火傷の恐れがあります。
・必要以上の長時間の充電（過充電）は避けてください。バッテリーの性能を低下させる恐れがあります。
・バッテリーパックの保存は、−20℃ 〜 +45℃の範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。
それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの漏液や、金属部分のサビの原因になりますので避けてください。
・通常の使用で約500回の充電が可能ですが、所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命がつきたものと思われます。新しいものにお取替えください。
・ご使用済みのバッテリーパックは、環境保護のため、燃えないゴミといっしょに捨てずに、当社サービス窓口に相談するか、または電池回収協力店へご持参ください。

1

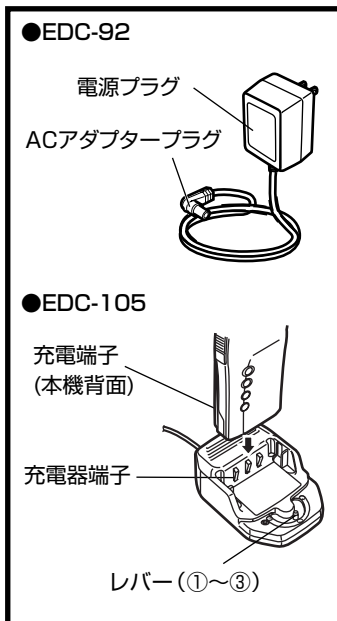
## ■ バッテリーのショート防止のご注意

バッテリーパックを持ち運ぶときには、端子をショートさせないように注意してください。
大電流が流れて火傷や火事を起こす危険があります。

## ■バッテリーの保管について

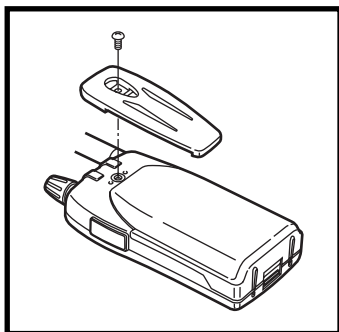
バッテリーを保管するときは、以下のことに注意してください。

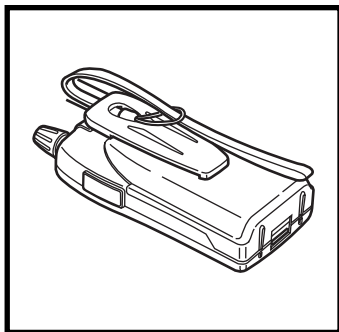
| 金属物を一緒にしてカバンなどに入れないでください。 | 金属メッキしている布に包んだり、内側が金属加工のカバンなどに直接入れたりしないでください。 | 釘や画鋲などの金属類に端子を触れさせたり、電気を通す物がある場所に置かないでください。 |
|---|---|---|
| カバンなどに入れるときは、電気を通さない布や袋で包んでください。 | | 電気を通さない物などを敷いてから、置いてください。 |

## ■ 簡易充電器（EDC-92、EDC-105）の充電方法

1　本機にニッケル水素バッテリーパックを装着します。(バッテリーパック単体でも充電可能です）
2　ACアダプタープラグを充電器本体に接続します。
3　充電時、本機背面の充電端子と充電器の端子とが接触するように、充電器のレバーで、①から③の位置を選択してください。(バッテリーの種類により位置が異なります）
4　電源プラグを家庭用電源のAC100Vのコンセントへ接続します。
5　充電器の赤色LEDが点灯し、充電状態となります。(接続時は常時充電状態です。)

・必ずEDC-92とEDC-105をセットでお使いください。
・充電中バッテリーの温度が一定以上高くなると、保護回路が動作し、充電をストップします。(赤色LEDが消灯します）その場合、速やかに本機及び、電源プラグを取り外し、原因を取り除いてから使用してください。
・簡易充電器(EDC－105)を充電使用時には、必ず本機の電源を“OFF”にしておいてください。
・簡易充電器(EDC－105)を使用しない時には、電源コンセントから外しておいてください。
・他社製品の充電等には、絶対に使用しないでください。
・充電時間はバッテリーパックの消費状態及び各商品によって異なりますが、最大約10時間必要です。
各バッテリーパックの取扱説明書を参照してください。
・本機の充電端子を金属片等で短絡させたりすると、本機にダメージを与える場合があります。
・AC100Vが著しく低下すると、充電できないことがあります。

## ■ ベルトクリップの取り付け

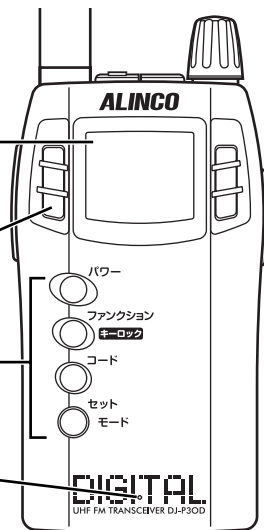
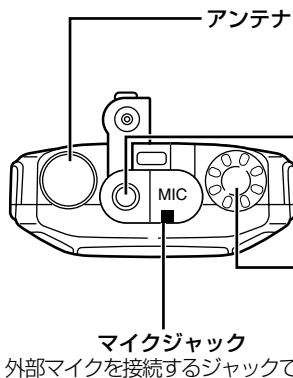
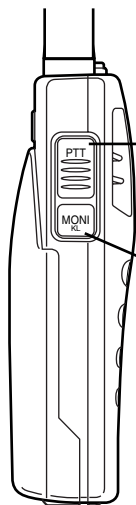
ベルトクリップを付属のネジで本機の背面に取り付けます。
確実に取り付けたことを確認してください。

## ■ ストラップの取り付け

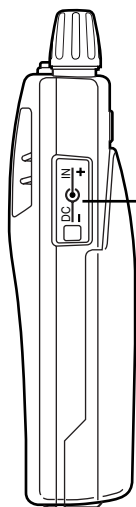
ベルトクリップと本機の溝の間に右の図のように取り付けます。

# ……… 各部の名前とはたらき ………

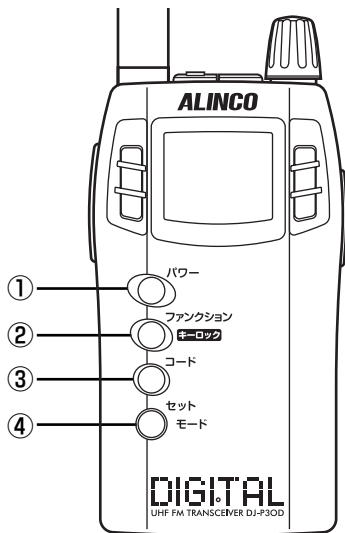
本機の各部の名前とそのはたらきを説明します。

## ■ 前面部

## ■上面部

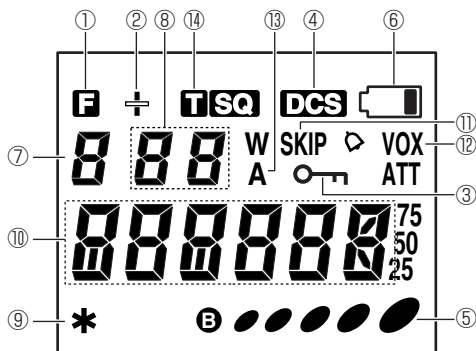
## ■ 側面部

**[PTT]キー**
押すと送信します。離すと受信に切り替わります。

**[MONI]キー**
相手の声が途切れる時に使います。

**DC-IN**
外部電源接続端子です。オプションのフィルター付きシガーライターケーブル（EDC-36）を接続し、車中で使用できます。ジャック極性は中央が＋極、外側が－極です。
オプションのニッケル水素充電池を装着しトリクル充電ができます。
外部電源を使用する場合は、DC4.5V～16.V、1A以上の安定化電源を使用してください。

## ■ キー配置

| | キー名称 | 機　能 |
|---|---|---|
| ① | [パワー]キー | 電源をON/OFFします。 |
| ② | [ファンクション（キーロック）]キー | 各種設定の開始に使います。<br>約1秒間押し続けるとキーロックができます。 |
| ③ | [コード]キー | DIGITALコード設定に使用します。 |
| ④ | [セット（モード）]キー | セットモードを設定します。<br>F 点灯状態では、モードの切り替えに使います。 |

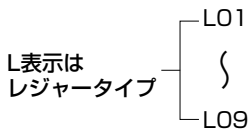
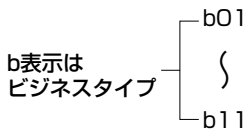
※1：F 点灯状態とは、[ファンクション（キーロック）]キーを押して、ディスプレイに F を点灯させた状態です。

1

## ■ ディスプレイ

| 説　明 | |
|---|---|
| ① | ファンクションキーを押すと点灯します。 |
| ② | バッテリーセーブを解除した時に点灯します。 |
| ③ | キーロックされている時に点灯します。 |
| ④ | デジタルコードの同じ信号を受信すると点灯します。 |
| ⑤ | 送信時点灯します。受信時は受信レベルを表示します。 |
| ⑥ | 電池の残量が少なくなると点灯します。 |
| ⑦ | レジャーチャンネルかビジネスチャンネルかを表示します。 |
| ⑧ | ch番号を表示します。 |
| ⑨ | 内臓の充電機能がON時に点灯します。 |
| ⑩ | デジタルコードを表示します。 |
| ⑪ | レピーターモード時点灯します。 |
| ⑫ | ケアモード時点灯します。 |
| ⑬ | オートパワーオフON時に点灯します。 |
| ⑭ | 送信時に点灯します。 |

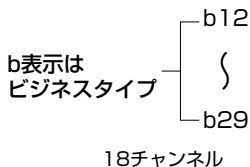
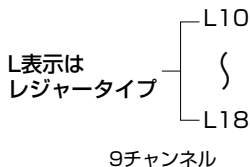
## ■ チャンネル表示について

**●トランシーバーモード**

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。

L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ（9チャンネル機）と通信できます。

b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ（11チャンネル機）と通信できます。

●レピーターモード

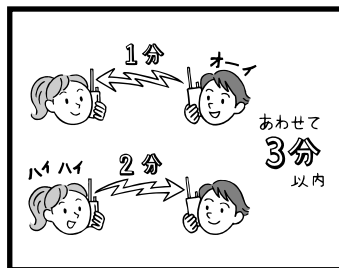
レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

1

## 特定小電力の交信制限について

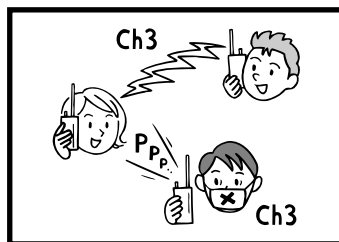
特定小電力トランシーバーの交信に関する制限事項を説明します。

### ■ 一定の時間以上は連続で送信できません。（3分制限）

送信、受信合わせて3分以内です。
10秒前に警告音が鳴ります。（モード5、7設定時および受信時は無効）
交信時間が合計3分になると自動的に交信は停止します。

・3分の交信時間制限により、自動的に交信が止まった後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

### ■受信中は送信できません。

一定の強さの信号を受信している時はPTTキーを押しても送信出来ません。
受信中にPTTキーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことを知らせます。

ビープ音量を0に設定している時、アラーム音は鳴りません。（P.43）

# 3つの交信モード

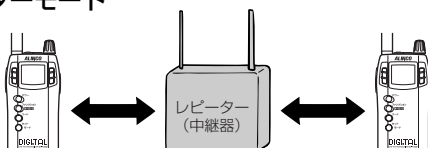
DJ-P30Dで使用できる3つの交信モードの概要と操作方法を紹介します。

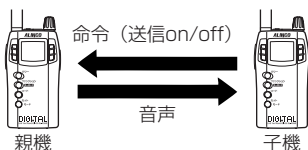
## ……… 各モードの概要 ………

ここでは3つの通信モードの概要を説明します。

### ■トランシーバーモード

最も基本的な単信通話モードです。工場出荷状態で電源を入れると、このモードになります。送信時にPTTキーを押して通話します。通話可能なエリア内であれば、同じチャンネルで同じデジタルコードを設定すれば全員交信できます。
使用チャンネル：L1～9、b1～11

### ■レピーターモード

半複信方式のデジタルレピーター（中継器）にアクセスできるモードです。デジタルレピーター（中継器）を使うことによって単信通話では電波の届かない相手と交信することができます。
使用チャンネル：L10～18、b12～29

### ■ケアモニターモード

本機2台を使って、親機から子機の送信をコントロールできます。乳幼児や病人の監視などに活用できます。
使用チャンネル：L1～9、b1～11

# ……… 各モードの操作方法 ………

モード別に操作方法を説明します。

## ……… トランシーバーモード ………

もっとも基本的な交信モードです。

### ❶ 電源を入れる

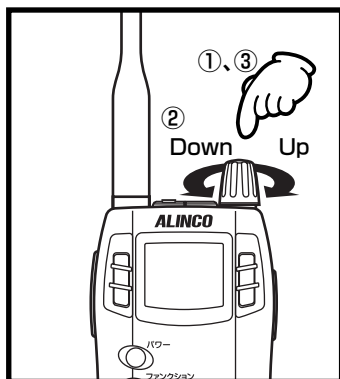
パワーキーを約２秒押すと電源が入ります。

電源を切るときは、もう１度パワーキーを約２秒押します。

### ❷ 音量を調整する

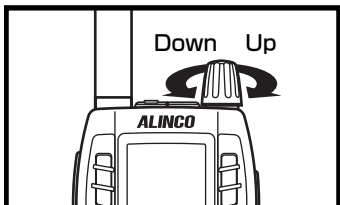
①ダイヤルスイッチを１回押します。
　ディスプレイに「voL－15」と表示されます。

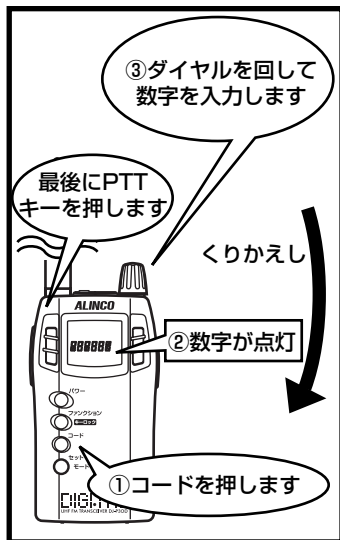
②ダイヤルを回して音量を調整します。
　0～30の31段階で調整できます。
　数字が大きくなるほど音量が大きくなります。

③ダイヤルスイッチを押すか、そのままの状態で５秒たつと通常モードに戻ります。

メモ　外部イヤホンを使用する際には音量を下げてからご使用ください。

### ❸ チャンネル番号を合わせる

ダイヤルを回し相手と同じチャンネル番号に合わせます

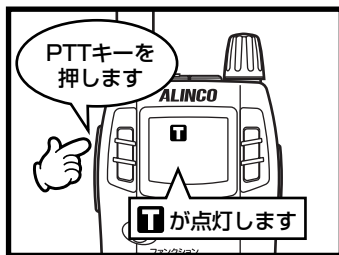
2

## ❹ デジタルコードを合わせる

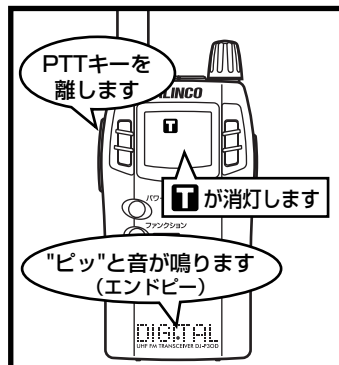
①コードキーを押して、デジタルコード設定モードにします。
②一番左の数字が点滅します。
③ダイヤルを回すと数字が変わります。
④さらにコードキーを押すとひとつ右の数字が点滅します。
⑤6桁のデジタルコードを相手と同じ数字に設定します。
⑥PTTキーを押すか、そのままの状態で5秒たつと通常モードに戻ります。

## ❺ 受信すると･･･

電源を入れると、受信待ち受けが始まります。
信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえてきます。

**■相手の声が途切れる場合**
スケルチレベルを変更するか、モニターキーを押してみてください。
聞きやすくなることがあります。
モニターキーを押している間、🅑が点灯します。

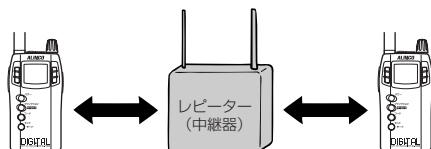
## ❻ 送信する

信号を受信していないことを確認してPTTキーを押します。
ディスプレイに T が点灯したら、マイク部から5cm位離してお話しください。

## ❼ 送信が終わったら

PTTキーを離すと送信を終えて、受信待ち受け状態になります。
T とレベルメータ5個が消灯して送信終了です。

2

# レピーターモード

通常の交信では直接交信できない場所にいる相手と中継器を介して無線機のように交信するモードです。

中継器として弊社製デジタルレピーターが別途必要です。



## ❶ レピーターモードに設定する

①ファンクションキーを押します。
② F 点灯中にモードキーを押します。
③SKIPが点灯し、チャンネルがレピーターチャンネルに変わります。
④PTTキーを押してレピーターモードを確定します。

## ❷ チャンネルとデジタルコードを合わせる

①ダイヤルを回して、使用するデジタルレピーターと同じチャンネルに合わせる。
②トランシーバーモードと同様の方法でレピーターと同じデジタルコードに合わせる。

## ❸ 交信する

①PTTキーを押し続けます。
レピーターへのアクセスが成功すると、1秒後に「ピピ」という音が聞こえます。
②そのままマイクに向かって話します。
後は通常の交信と同様の操作です。

## ❹「ププププ」と音がしたら

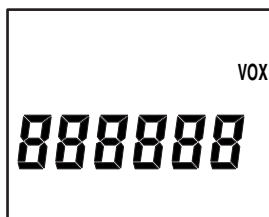
レピーターへのアクセスが失敗した場合「ププププ」と音が出ます。
レピーターの通話エリヤにない場合や、デジタルコードが一致していない場合もレピーターを使用することはできません。

## ケアモニターモード

本機2台を使って、親機から子機の送信をコントロールすることができます。乳幼児や病人の監視などに活用できます。

2

### ❶ケアモニターモードに切り替える

①ファンクションキーを押します。
②F点灯中にモードキーを2回押します。
③VOXが点灯し、ケアモニターモードに変わります。
④PTTキーを押して、ケアモニターモードを確定します。

### ❷ チャンネルを合わせる

ダイヤルを回して、2台を同じチャンネルに合わせます。

### ❸ 子機のセット

①ファンクションキーを押します。
②F点灯中にコードキーを押すと「ピピ」音がなって子機に設定されます。

## ❹ 子機を送信させる

①親機のPTTキーを押します。
②「ピピ」音がなり、子機の送信が始まります。
③子機は、「25秒送信」→「５秒受信」の間欠動作を繰り返します。

## ❺ 子機の送信を止める

①子機の「５秒受信」中に、親機のPTTキーを押します。子機は待機状態になります。
②もう１度親機からの送信命令を受けるとまた送信をはじめます。

子機の電源を入れ直した場合は、再度「❸子機のセット」を行ってください。

# 便利な機能

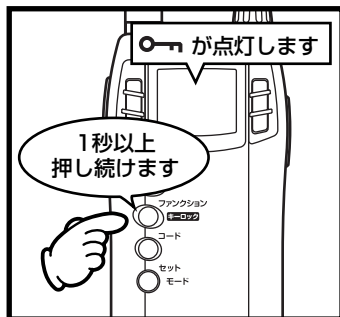
本機の使用するときに便利な機能を紹介します。



## ……… キーロック ………

キーロックしておくと、誤って設定を変えてしまうことを防げます。

### ❶ キーロックする

ファンクションキーを１秒以上押し続けます。
「ピピピピピ」と音が鳴り マークが表示されます。

### ❶ キーロック解除

ファンクションキーを１秒以上押し続けます。
「ピピ」と音がなり が消えます。

マーク点灯中は以下の操作以外は無効になります。
電源ON/OFF、モニター、送信、音量設定、キーロック解除

## ……… バッテリー警告機能 ………

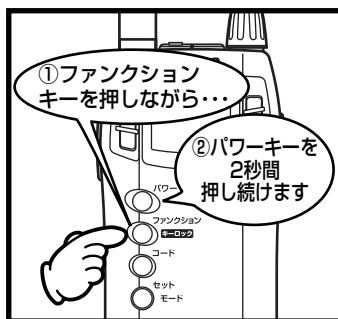
電池の残量が少なくなると、ディスプレイに電池マークが点灯します。電池マークが点灯するとすぐ使えなくなるので、新しい電池と交換してください。

3

## ……… リセット ………

リセットすると、工場出荷時の状態に戻ります。

### ❶ リセットするには

ファンクションキーを押しながら、電源を入れます。

# セットモード

各種交信をより使いやすくするための機能です。

## セットモード一覧

各種機能をより使いやすくするために、DJ-P30Dをカスタマイズする機能です。次の項目が設定できます。

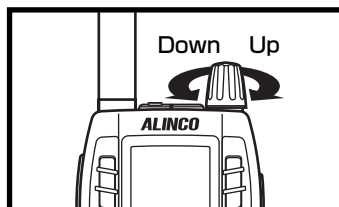
スケルチレベル設定
マイクゲイン調整
バッテリー充電機能
バッテリーセーブ機能
ビープ設定
オートパワーオフ機能
ランプ機能

# ……… 各項目の設定方法 ………

セットモードは次の方法で設定します。

❶ セットキーを押してセットモードに入ります。

❷ セットキーを押して設定したい項目を選択します。

❸ ダイヤルを回して設定値を変更します。

❹ PTTキーを押します。

これで設定は完了です。

各種設定の詳細は次ページ以降をご参照ください。

## ……… スケルチレベル設定 ………

受信させる信号レベルを設定する機能です。

スケルチレベルの数字が小さいほど、弱い信号でスケルチが開きます。

### ❶ スケルチレベル設定に合わせる

①セットキーを１回押して、「SqL」が表示されるのを確認します。

### ❷ スケルチレベルを切り替える

ダイヤルを回してスケルチレベルを変更します。
スケルチのレベルは１～５の間で設定します。
初期値はスケルチ３です。

4

## ……… マイクゲイン調整 ………

送信する時のマイクの感度を設定する機能です。

マイクゲインの数字が大きいほどゲインが大きくなります。

### ❶ マイクゲイン設定に合わせる

セットキーを２回押して、「mG」が表示されるのを確認します。

### ❷ マイクゲインを切り替える

ダイヤルを回してマイクゲインを変更します。
マイクゲインは１～４の間で設定します。
初期値はマイクゲイン１です。

# ……… バッテリー充電機能 ………

オプションのニッケル水素充電池を装着し、外部電源端子よりトリクル充電できます。

本機の電源を切っても充電できます。その時、ディスプレイの電池マークが点滅します。

## ❶ 充電機能設定に合わせる

①セットキーを３回押して、「cHArGE」が表示されるのを確認します。

## ❷ ダイヤルを回して、on／oFFを切り替える

onにすると充電できます。
onの時、＊が点灯します。

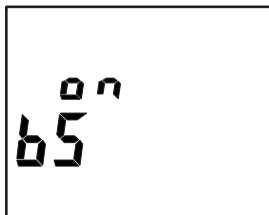
単三乾電池装着時は、絶対に充電しないでください。
液漏れなどの原因となります。

4

## ……… バッテリーセーブ機能 ………

待ち受け状態が５秒以上続くと、内部電源を定期的にon／oFFさせて電池の消費を少なくする機能です。

### ❶ バッテリーセーブ設定に合わせる

セットキーを４回押して、「bS」が表示されるのを
確認します。

### ❷ バッテリー機能を切り替える

ダイヤルを回して、on／oFFを切り替えます。
初期設定はonです。
バッテリーセーブ機能がoFF設定時は「oFF」が点灯します。

4

## ………… ビープ設定 …………

本機から鳴るビープ音のon／oFFを設定します。

### ❶ ビープ設定に合わせる

セットキーを５回押して、「bEEP」が表示されるのを確認します。

### ❷ ビープ設定を切り替える

ダイヤルを回して、ビープ音のon／oFFを切り替えます。oFFに設定すると全てのビープ音がならなくなります。

## ……… オートパワーオフ機能 ………

電源スイッチの切り忘れを防ぐ機能です。APOが設定されているときに無操作の状態が設定時間続くと、ビープ音が鳴り、自動的に本機の電源が切れます。

### ❶ オートパワーオフ機能に合わせる

セットキーを6回押し、「APo」が表示されるのを確認します。

### ❷ オートパワーオフ機能を切り替える

ダイヤルを回してAPO時間を変更します。
APO時間は、oFF、30分、60分、90分から選択できます。
初期設定は、30分です。

4

## ……… ランプ機能 ………

ディスプレイ照明のon／oFFを設定します。on設定時は、いずれかのキー操作をするとディスプレイの照明が自動的に点灯し、無操作状態が5秒間続くと自動的に消灯します。

### ❶ ランプ機能に合わせる

セットキーを6回押して、「LAmP」が表示される
のを確認します。

### ❷ ランプ機能を切り替える

ダイヤルを回して、on／oFFを切り替えます。
初期設定はonです。

# 付　録

本製品の補足事項を記載しています。

## …… 各チャンネルの送受信周波数 ……

単信チャンネル（レピーターモード以外）レジャー9CH＋ビジネス11CH

| | チャンネル番号 | 本機での<br>チャンネル表示 | 送受信周波数（MHz） |
|---|---|---|---|
| レジャータイプ<br>9チャンネル | 1 | L01 | 422.2000 |
| | 2 | L02 | 422.2125 |
| | 3 | L03 | 422.2250 |
| | 4 | L04 | 422.2375 |
| | 5 | L05 | 422.2500 |
| | 6 | L06 | 422.2625 |
| | 7 | L07 | 422.2750 |
| | 8 | L08 | 422.2875 |
| | 9 | L09 | 422.3000 |
| ビジネスタイプ<br>11チャンネル | 1 | b01 | 422.0200 |
| | 2 | b02 | 422.0625 |
| | 3 | b03 | 422.0750 |
| | 4 | b04 | 422.0875 |
| | 5 | b05 | 422.1000 |
| | 6 | b06 | 422.1125 |
| | 7 | b07 | 422.1250 |
| | 8 | b08 | 422.1375 |
| | 9 | b09 | 422.1500 |
| | 10 | b10 | 422.1625 |
| | 11 | b11 | 422.1750 |

半複信チャンネル（レピーターモード）レジャー9CH＋ビジネス18CH

| | チャンネル番号 | 本機でのチャンネル表示 | 受信周波数（MHz） | 送信周波数（MHz） |
|---|---|---|---|---|
| レジャータイプ9チャンネル | 1 | L10 | 421.8125 | 440.2625 |
| | 2 | L11 | 421.8250 | 440.2750 |
| | 3 | L12 | 421.8375 | 440.2875 |
| | 4 | L13 | 421.8500 | 440.3000 |
| | 5 | L14 | 421.8625 | 440.3125 |
| | 6 | L15 | 421.8750 | 440.3250 |
| | 7 | L16 | 421.8875 | 440.3375 |
| | 8 | L17 | 421.9000 | 440.3500 |
| | 9 | L18 | 421.9125 | 440.3625 |
| ビジネスタイプ18チャンネル | 1 | b12 | 421.5750 | 440.0250 |
| | 2 | b13 | 421.5875 | 440.0375 |
| | 3 | b14 | 421.6000 | 440.0500 |
| | 4 | b15 | 421.6125 | 440.0625 |
| | 5 | b16 | 421.6250 | 440.0750 |
| | 6 | b17 | 421.6375 | 440.0875 |
| | 7 | b18 | 421.6500 | 440.1000 |
| | 8 | b19 | 421.6625 | 440.1125 |
| | 9 | b20 | 421.6750 | 440.1250 |
| | 10 | b21 | 421.6875 | 440.1375 |
| | 11 | b22 | 421.7000 | 440.1500 |
| | 12 | b23 | 421.7125 | 440.1625 |
| | 13 | b24 | 421.7250 | 440.1750 |
| | 14 | b25 | 421.7375 | 440.1875 |
| | 15 | b26 | 421.7500 | 440.2000 |
| | 16 | b27 | 421.7625 | 440.2125 |
| | 17 | b28 | 421.7750 | 440.2250 |
| | 18 | b29 | 421.7875 | 440.2375 |

# ……… オプション一覧 ………

本製品のオプション製品の一覧です。

| | |
|---|---|
| EBP-52N | ニッケル水素バッテリーパック（3.6V 500mAh） |
| EBP-53N | ニッケル水素バッテリーパック（6.0V 500mAh） |
| EBP-54N | ニッケル水素バッテリーパック（3.6V 1500mAh） |
| EDC-36 | フィルター付きシガーライターケーブル（DC12V系） |
| EDC-37 | 基地局用DCケーブル（DC12V系） |
| EDC-43 | シガーライターケーブル（DC12V系） |
| EDC-92 | 簡易充電器（ウォールチャージャー） |
| EDC-105 | 置型簡易スタンド |
| EMS-9 | スピーカーマイク |
| EME-6 | プチ型イヤホン |
| EME-12A | VOX付きヘッドセット（ヘッドホンタイプ） |
| EME-13A | VOX付きヘッドセット（インナータイプ） |
| EME-15A | VOX付きタイピンマイク |
| EME-19A | ヘッドセット（ヘッドホンタイプ） |
| EME-20 | イヤホンマイク |
| ESC-37 | ソフトケース |

◆必ずEDC-92とEDC-105をセットでお使いください。

EME-19Aをモード2（複信無線モード）でご使用になる場合は、操作方法がEME-12A/13A/15Aと異なります。
呼び出し　：黒いボタンをオンにします。
応答　　　：黒いボタンをオンにします。
通話の終了：黒いボタンをオフにし、白いボタンを押します。
通話していないときは、黒いボタンをオフにし、次の呼び出しを待ちます。

5

# ……… 故障とお考えになる前に ………

本製品が故障かなと思ったら、まずこちらをお読みください。

| 症　状 | 原　因 | 処　理 |
|---|---|---|
| **電源を入れても何も表示しない。** | 電池の入れ方が違う。 | 電池を正しく入れ直してください。 |
| | 電池が消耗している。 | 乾電池をご使用の場合は、新しい乾電池に交換してください。バッテリーパックをご使用の場合は充電してください。 |
| **スピーカーから音が出ない。** | voL設定が0になっている。 | voL設定を1～30のお好みの値に設定してください。 |
| | 相手とデジタルコードが違う。 | 交信相手とデジタルコードを合わせてください。 |
| **受信しない。** | 相手とチャンネルが違う。 | 交信相手とチャンネルを合わせてください。 |
| | 相手と距離が離れすぎている。 | 交信距離を目安に交信してください。 |
| | PTTスイッチを押して送信中である。 | PTTスイッチを離してください。 |
| **送信できない。** | 信号を受信している。 | 信号がなくなるのを待ってから送信するか、チャンネルを変えてください。 |
| | 交信制限時間を過ぎている。 | PTTスイッチを離し、2秒待ってから、再度送信してください。 |
| | PTTスイッチを押しながら電源を入れた。 | PTTスイッチを押し直してください。 |
| **キーを操作できない。チャンネルが変わらない。** | キーロック状態である。 | キーロックを解除してください。 |

◆上記の処置を施してもなお異常が続く場合は、P.38を参照してリセット（初期化）してください。

◆電池が激しく消耗していると、まれに誤動作することがあります。動作がおかしい時にディスプレイの電池マークが点灯していたら、電池を交換してください。正常な状態に戻る場合があります。

5

# ……… 定格DJ-P30D ………

| | | |
|---|---|---|
| **送受信周波数** | レジャーチャンネル | 421.8125～421.9125MHz（受信）<br>422.2000～422.3000MHz（送受信）<br>440.2625～440.3625MHz（送信）<br>（12.5KHzステップ） |
| | ビジネスチャンネル | 421.5750～421.7875MHz（受信）<br>422.0500～422.1750MHz（送受信）<br>440.0250～440.2375MHz（送信）<br>（12.5KHzステップ） |
| **電波形式** | F1E（GMSK） | |
| **送信出力** | 10mW | |
| **受信方式** | ダブルスーパーヘテロダイン | |
| **受信感度** | | |
| **音声出力** | 100mW以上 | |
| **消費電力** | 送信時 | 約115mA |
| | 受信定格出力時（50mW） | 約120mA |
| | 受信待ち受け時 | 約35mA |
| | バッテリーセーブ時（平均） | 約11mA |
| **通信方式** | 単信方式 | |
| | 半複信方式 | |
| **定格電圧** | DC3.6V～DC6.0V | |
| **外部電圧端子** | DC5.0V～DC16.0V | |
| **中間周波数** | 1st IF 21.7MHz 2nd IF 450kHz | |
| **寸　法** | 56（W）×102（H）×28（D）mm（突起物含む） | |
| **重　量** | 180g（乾電池含む） | |

5